

株式会社地域文化財研究所 市川市教育委員会

曾谷南遺跡第 75-2 地点の調査は、宅地造成に伴い昨年 11 月中旬より、市川市教育委員会の指導の下、株式会社地域文化財研究所が進めてまいりました。調査面積は 2,776 m²、調査工程の都合上、裏面全体図にありますように南北に分け、半分ずつの調査となりました。南側調査区は昨年末までに終了し、現在、北側の調査を実施しています。調査中のため不明な点多々ございますが、今回の説明会にて地域の過去の痕跡を直接ご覧いただき、ご理解を深めていただけたら幸いです。

遺跡から北方向を望む。

市川市曾谷南遺跡第75-2地点 調査区全体概略図

《主な検出遺構》

竪穴建物跡（SI） 21棟

掘立柱建物跡（SB） 3棟

溝状遺構（SD） 3条

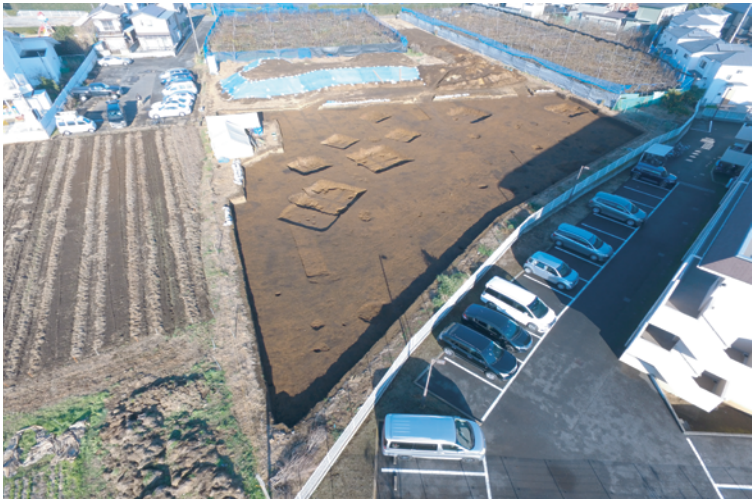
土坑（SK） 8基

《時代別色区分》

縄文時代早・前期

古墳時代後期

奈良・平安時代



南側調査区



SI5遺物出土状況



SI14遺物出土状況(古墳時代後期)



SI5(奈良・平安時代)



SI5カマド



SK5(縄文時代早期陥し穴)



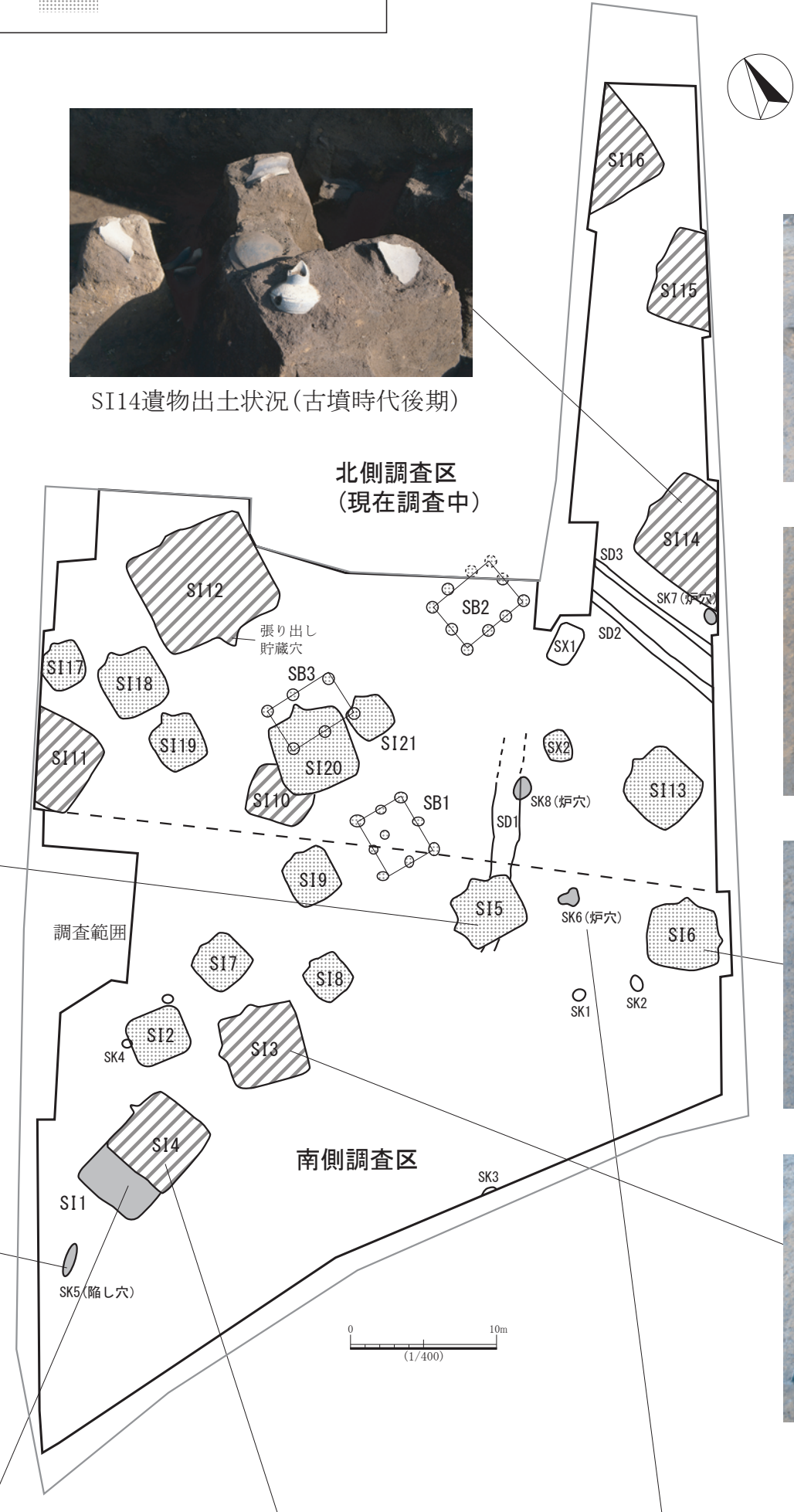
SI1遺物出土状況(縄文時代前期)



SI4遺物出土状況(古墳時代後期)



SK6(縄文時代早期炉穴)



SI6埋没状況



SI6遺物出土状況



SI6(奈良・平安時代)



SI3(古墳時代後期)